

2023年4月24日

「ちば興銀の森」(第2期)の森林整備活動をスタート!

～活動開始にあたり植樹式を開催いたしました～

株式会社千葉興業銀行(頭取 梅田 仁司)は、環境保全分野でのサステナビリティ推進の一環として山武市蓮沼の蓮沼海浜公園に隣接する海岸県有保安林にて、「ちば興銀の森」(第2期)の森林整備活動を開始いたしました。

当行は、千葉県が推進する「法人の森」事業に賛同し、2014年より、松くい虫や東日本大震災の津波により被害を受けた匝瑳市新堀の海岸県有保安林 1.0ha の再生をめざし 5,000 本の植樹や下草刈り等の森林整備活動を「ちば興銀の森」第1期として進めてまいりました。

この第1期事業が3月末をもって終了したことから、新たに千葉県と「法人の森」協定を締結し、活動の場を山武市蓮沼に移して海岸県有保安林 0.9ha の再生をめざす「ちば興銀の森」第2期の活動を下記のとおり開始することといたしました。

そのスタートにあたり、2023年4月22日(土)には当行役職員の有志ボランティアが参加する植樹式を開催いたしました。なお、本イベントは千葉県生誕150周年記念事業への協力の一環として実施しております。



チーバくん

記

「ちば興銀の森」(第2期)概要

1. 場所・面積：山武市蓮沼 県有保安林 0.9ha
2. 事業目的：SDGsの観点から千葉県と協働して環境保全分野でのサステナビリティ推進に取り組む

〈本件の取組みに関連するゴール〉



目標 11 住み続けられるまちづくりを

⇒松くい虫、津波被害にあった海岸県有保安林の修復にて防風、防砂、減災効果



目標 13 気候変動に具体的な対策を

⇒日本でも、この数年の異常気象による被害は甚大化、原因となる温暖化対策

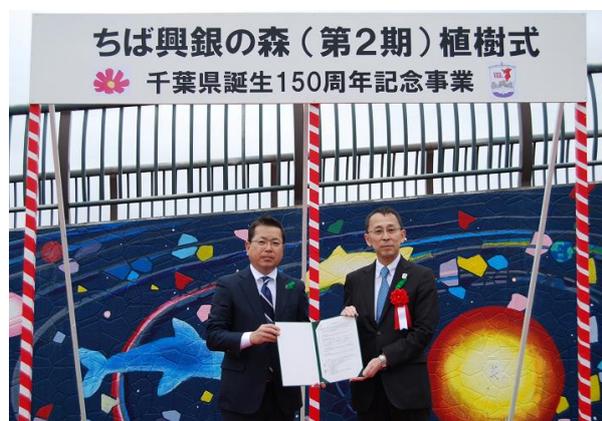


目標 15 陸の豊かさを守ろう

⇒おとろえてしまった森林を回復させ、世界全体で植林を大きく増やす

3. 協定期間：2023年1月～2027年12月（5年間）

4. 植樹本数：4,500本



【植樹式の様子】

当行は、地域社会に対する責務として社会・環境問題をはじめとするサステナビリティへ適切に対応することとし、「安心して暮らせる豊かな千葉の実現」をサステナビリティ重点項目の一つに掲げております。これからも社会・環境問題の解決に資するさまざまな取組みを展開してまいります。

以上